

## 《平成29年度原子力防災訓練を実施しました》 ～安全を確保するのは「人」。訓練により対応能力の向上を図っています～

女川原子力発電所では、2月6日(火)に「平成29年度原子力防災訓練」を実施しました。

訓練には仙台市にある本店や宮城支店、東京支社等も参加し、訓練シナリオを予め提示しないシナリオ非提示型による訓練を行いました。

今回の訓練は、地震が発生し、その後「原子炉内の圧力を下げる機能の喪失」や「原子炉等に冷却水を送るすべてのポンプの停止」などの事象に加え、「発電所構内での瓦礫散乱による道路の不通や屋外電源設備の火災」などが次々に発生する想定で行いました。

今回の訓練を通じて、複数の事象が重なった場合でも、社内の情報共有や社外への情報発信、設備や機能の復旧対応が迅速かつ適切に実施できることをあらためて確認しました。

### 発電所本部訓練



的確な指示・伝達を行う本部訓練

### 構内各所で行われた訓練の一部



高放射線量下で現場を調査する現場偵察ロボットの遠隔操作訓練の様子



ホイールローダーによる瓦礫撤去訓練の様子



可搬型モニタリングポストの設置および測定訓練の様子

## シリーズ 常に備える③ 《定期的な冷却機能確保訓練で対応力の維持・向上を図っています》

自然災害など何らかの原因により、万が一原子炉等に冷却水を送るすべてのポンプが故障したり、ポンプを動かすための電源がなくなった場合でも、原子炉や使用済燃料プールに直接注水し冷却する方法があります。この時に使用するのが代替注水車(以降「注水車」と表記)です。発電所構内にある水源(ろ過水タンク、純水タンクなど)に注水車のホースを接続し、注水車から復水貯蔵タンクや建物の外壁に設置した接続口を経由して原子炉や使用済燃料プールへと続く配管につないで注水することができます。

女川原子力発電所では、この注水車を津波等の影響を受けない高台に3台配備しています。また、注水に必要な技術の向上および使用する資機材の準備状況などの確認を目的とした訓練を定期的に行っています。発電所の安全を確保するのは「人」です。今後も様々な事象を想定し、繰り返し訓練を行うことで、冷静沈着に、迅速かつ的確な対応能力の維持・向上に努めてまいります。

訓練は「線量が高い」「夜間」など、様々な場面を想定して実施しています。非常時には状況に応じた対応が必要となるため、繰り返し訓練を実施し、冷静沈着に、迅速かつ的確な対応できるよう努めてまいります。

保全部 タービングループ  
木須 雄一(仙台市出身)

訓練には現場指揮者として参加しており、指揮者の役割をしっかりと考え、迅速かつ適切な対応を心掛けています。これからも万が一の非常事態に備え、技術向上に努めてまいります。

保全部 タービングループ  
浅野 治(東松島市出身)



注水車を用いた冷却機能確保訓練の様子

# 《女川原子力発電所「構内特別安全大会」を開催しました》

～【冬季労働災害防止のスローガン】「一人ひとりが“気づく・話す・直す”を実践し、安全確保を第一に 災害の発生防止に努めよう ヨシ!!!」～

1月11日(木)、女川原子力発電所において、発電所員および構内協力企業社員約1,800名の出席のもと、「平成29年度構内特別安全大会」を開催しました。大会では、発電所工事現場管理における良好事例表彰や冬季工事における労働災害防止の決意表明が行われました。最後に全員で冬季労働災害防止スローガンの唱和を行い、冬季の労働災害発生ゼロを誓い合いました。

これからも、発電所員および構内協力企業が「一丸」となって安全第一で取り組んでまいります。

## 作業現場の良好事例表彰を受賞した3社

- 宮城原子力サービス 株式会社 様
- 株式会社 中里工務店 様
- 株式会社 久保田工業所 様



発電所員および構内協力企業社員約1,800名が出席



発電所工事現場管理における良好事例表彰の様子



全員で冬季労働災害防止スローガンを唱和

## 《第16回東北電力図画コンクール作品展のお知らせ》

1月27日(土)から2月4日(日)にかけ、石巻市内の「石ノ森萬画館」において、第16回東北電力図画コンクール「想像の海の生きものたち」の作品展を開催しました。応募総数5,396作品の中から一次審査を通過した200作品を展示し、来場された多くの皆さまに、子どもたちが一生懸命描いた想像力あふれる「海の生きものたち」をお楽しみいただきました。

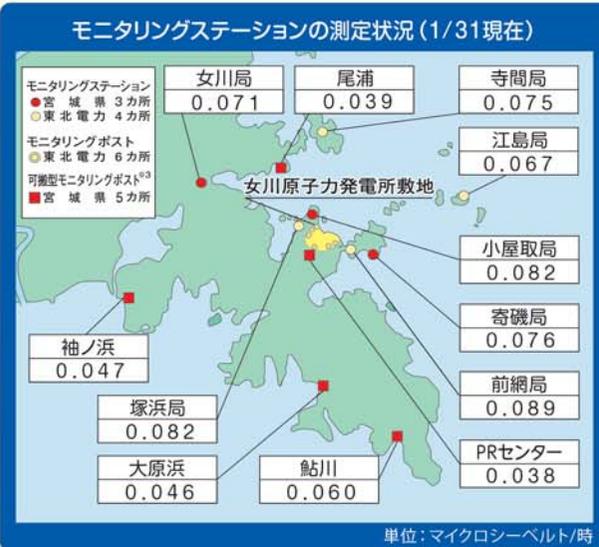


なお、2月17日(土)から2月25日(日)まで「イオンモール石巻(2F ABCマート前)」でも作品展を開催しますので、お問い合わせの上、ぜひ会場までお越しください。

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト\*1やモニタリングステーション\*2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.048マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



項目	測定値
〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	平成23年3月11日 0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	平成23年3月13日 1.8~21**4
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	平成24年 4月1日 0.063~0.098
	平成25年 4月1日 0.055~0.076
	平成26年 4月1日 0.046~0.065
	平成27年 4月1日 0.043~0.077
	平成28年 4月1日 0.041~0.061
	平成29年 4月1日 0.038~0.059
	平成30年 1月1日 0.038~0.051
	平成30年 1月31日 0.036~0.048

単位:マイクロシーベルト/時

- \*1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。
- \*2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- \*3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- \*4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射線物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

## 《女川原子力PRセンター春休みイベント「おしごとEXPO 2018」開催のお知らせ》

女川原子力PRセンターでは、子どもたちに人気のある「おしごと」を体験できる春休みイベント「おしごとEXPO 2018」を開催します。

**実施日時** 平成30年3月17日(土)・18日(日)  
10:00~15:00

**場 所** 女川原子力PRセンター

**参加費** 無料(事前のお申し込みが必要です)

**イベント内容** プロのレッスンを受けて、実際の「おしごと」を体験できます。

**お申し込み締切日** 3月9日(金)

**参加無料**

**アナウンサーのおしごと**

ニュース原稿を読む練習をして、ニューススタジオでニュースキャスター体験!

**DJのおしごと**

実際のDJ機材を使って、DJになってみよう!

**美容師のおしごと**

ヘアカット体験であこがれの美容師のおしごとを体験してみよう!

無料シャトルバス・「おしごと」体験予約は、こちらのアドレス(QRコード)よりお申し込みください。

<http://onagawa-event.com>



**ご来場のみなさまへのお願い**

**駐車場について**

当日は女川原子力PRセンターの駐車場はご利用できません。また、付近の路上は駐車禁止ですので交通法規を厳守していただきますようお願いいたします。

**お問い合わせ** 女川原子力PRセンター

住 所: 牡鹿郡女川町塚浜字前田123 電話番号: 0225-53-3410  
開館時間: 9:30~16:30 休館日: 2月19日(月)